

## 令和3年度 第1回ひと咲きまち咲きあまがさき推進会議

日時：令和3年4月30日（金） 15：30～16：00

開催手法：WEB会議

### 1. 開会

座長： 次期総合計画の策定に向け、構想の骨子がまとまりつつあるため、庁内で共有を図りたい。

### 2. 【協議事項1】 第6次尼崎市総合計画 まちづくり構想（骨子）について

事務局より資料に基づいて説明

委員： 都市整備局では公共空間の利活用、プレースメーカー（場づくり）という視点を持つように転換してきており、道路も別の活用方法を検討している。公園も市民が自らのルールで動くといった、仕組みづくりを進めており、今後重点的に取り組みたいため、総合計画へそのような記載をしていきたい。インフラの本来の目的以外での利活用などを通じ、尼崎らしい生活を表現できるのではないかと考えている。

座長： 兵庫県は作ることから使うことへ方向を転換してきている。これからは適切なメンテナンスで幅広い使い方を視野に入れて考えたい。改めて現在の構想（骨子）を見ると、「安心」といったキーワードが弱く、防災を含めた都市インフラの要素が薄まりすぎているように感じる。

委員： 資料第2号のP. 6「さらにたかまる。便利でご機嫌な暮らし【利便性・都市インフラの充実】」の部分で、現在は街頭犯罪よりもマナーの方に意識が向いてきているが、現在の案にはマナーが入っていない。今後の5年を考えるのであれば、犯罪の防止ではなくマナーに重点を置いてキーワードを入れておくべきではないかという印象を受ける。

委員： 安全・安心ということについて、消防局では救急車を増やすことなどにより救急力を高めてきた。また、消防団も地域ごとにあり、その特色をどこかに表現できないか。

座長： 災害については「ひろげる。一歩先の選択肢【持続可能性】」に入れており、この部分は行政運営の要素が強い。行財政改革や災害対策などは、基本計画の検討の中で考えたい。この10年間で進んできたことと課題認識を共有していきたい。

委員： 市民意識調査の結果を見ると、教育に関してはあらゆるところで評価が低い状況がある。現在の構想において、一部に市立高校の記載はあるが、色々と取り組んでいる中身があるので、記載を検討できないか。また、学びと育ち研究所においてエビデンスに基づいた取組を行っている。

座長： 教育はどこにいれてもおかしくない。尼崎らしい5つの「ありたい(ようす)」【要素】の1、2、3のどこにも位置づけられそう。関心が高い分野であるため、どこかには位置づけて市民と共有を図りたい。

委員： ひと咲きまち咲きあまがさきの今までの柱についてはリセットして、今回の5つの要素になるという理解でよいのか。また、行政の実効力についてはどういったものを想定しているのか。

事務局： 現総合計画で設定している4つの「ありたいまち」については、4つ要素に分かれているため、共有しづらいという課題があることから、次期総合計画の「ありたいまち」については1つにした。また、実効力については現在の行政運営の柱であり、人材育成と組織体制を手法としている。次の総計ではここに情報化の推進等の視点も入れて表現したい。

委員： 局の縦割り感が強いので横のつながりを表現できないか。また、実効性と実効力の違いについては再度検討してみたい。

座長： 今の4つの「ありたいまち」については「尼崎らしさ」があまり表現できていない。次の5つの要素については、ぱっとみて「西宮市」や「芦屋市」の総合計画ではないと思えるような内容にしたい。また、これらの要素については、ツリー型ではなくマトリックス型で表現したいと考えている。実効力については市役所の組織力を上げていくイメージではあるが、今後ブラッシュアップしていきたい。また、施策評価については、現総計の最後の年であり、次回からはどんな施策体系に再構築するのかを考えなければならない。現在の施策では、展開方向が使いにくいものがあり、今後の検討に当たっては、施策評価を見据えて施策の数や展開方向の構成や数を検討する必要がある。

### 3 【協議事項2】 その他

事務局より第2回施策間連携サミットの日程等について説明

以 上